

効率的な I T 化の推進

秋田県

人口：1,156,356 人

面積：11,612.22 km²

取組の概要

低コストで効率的な I T 化に向けた取り組みを進める。

- 1 システム棚卸し基礎調査の実施、整理、分析
- 2 個別システム維持管理業務の再評価による費用削減
- 3 新規システム開発、大規模改訂時の共通ルール設定による効率化
- 4 全体最適化計画の推進
- 5 汎用コンピュータの完全アウトソーシングとクライアントサーバ化の検討

取組の紹介

1 取組の背景

- ・ 行政サービスの向上と行政事務の効率化のために、様々な情報システムの導入が進められているが、その構築や維持管理に要する費用は年々増加しており、県財政を大きく圧迫している。
- ・ そこで平成 17 年度から新行財政改革推進プログラムにおいて「効率的な I T 化の推進」に取り組み、情報システム関連経費のコスト削減を積極的に進めている。
- ・ 今後一層のコスト削減や業務の効率化を図るためには、情報システム調達について庁内ルールの確立を図り、総合的・計画的に進めていく必要がある。

2 取組の具体的内容

- (1) 効率的な I T 化を強力に推進していく責任者として、C I O（最高情報責任者：副知事）を設置
- (2) C I Oを補佐するため、民間から公募したC I O補佐官（I T改革推進監）を設置
[業務内容] ①個別システムの維持管理業務の評価
②新規システム開発等に係る I T 調達の審査
③情報システムの開発等に際しての指導、助言

- (3) 維持管理業務の見直しやシステム最適化の基礎資料として活用を図るため、全庁システムの棚卸調査を実施
- (4) 庁内の情報システムの維持管理経費に関する平成18年度当初予算の総額について、全部局を対象に調査を実施
- (5) 個別システム維持管理業務の評価を実施
 - ① 年間維持管理費が2千万円以上の大規模システム(11システム)について、運用保守作業の要否を確認し、その実績を考慮しながら作業工数等について評価し、18年度当初予算に反映。
 - ② 維持管理費が500万円～2千万円の中規模システム(20システム)について①と同様に評価し、18年度契約に反映。
- (6) 新規システム開発等に係るIT調達について、システム化の効果・システム機能・調達費用・調達方法の妥当性などについて事前審査を実施(28システム)し、18年度当初予算に反映。
- (7) 調達手順書(暫定版)を作成
- (8) 汎用コンピュータのアウトソーシングやクライアントサーバへの移行検討の実施

3 取組の効果

- (1) 個別システム維持管理業務の評価結果
 - ① 大規模システムの評価結果(平成18年度当初予算への反映)
削減額：110,449千円(△11.6%)
反映内容：作業項目、作業工数、技術者単価を見直し
 - ② 中規模システムの評価結果(平成18年度契約への反映)
削減額：25,659千円(△4.5%)
反映内容：作業工数、技術者単価を見直し
- (2) IT調達の事前審査結果(平成18年度当初予算等への反映)
 - ① 翌年度以降に再検討するよう評価したものを含む削減額
894,337千円(△50.4%)
 - ② 再検討評価分を除いた削減額
210,431千円(△19.3%)

4 取組中の課題・問題点

- ・ 維持管理業務の評価において、工数等の評価基準が確立されていないことから、ガイドライン等によりその明確化を図ることとしている。
- ・ 個別システムの見直しだけではコスト削減に限界があることから、外部コンサルタントを活用して、横断的な視点からシステム維持管理業務の見直しを進めているところである。

5 今後の課題

- ・ I T調達標準化と費用削減へ全庁が一丸となって取り組むために、職員の意識や資質の向上を図る必要がある。また、部局や所属毎に温度差やI T技術・意識レベルの違いがあるところへの、柔軟なルール適用と周知が課題である。
- ・ 統合化等全体最適化を継続的に推進するにあたっては、PMO（プロジェクトマネジメント・オフィス：個々のプロジェクトが円滑に実施されるよう支援することを目的に設置される部署）やシステム監査制度などの導入を検討していく必要がある。

6 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 本県においては、情報システムの効率化に向けた取り組みへの主体が情報政策を担当する情報企画課となっているが、基幹系システムなど全庁にわたるシステムの構築の際の組織体制整備への迅速な対応が難しいなどの問題がある。
- ・ 全庁へのガバナンスを発揮していくためには、行政改革担当課が主体となって進めていくことも検討する必要がある。

担当部署：情報企画課